



令和8年度

調布市立第二小学校 学校経営方針



開校80周年記念キャラクター
「二小忍者」



二小の桜



2025年11月
開校80周年記念式典の様子

令和8年度 4月保護者会資料

調布市立第二小学校 校長 関村 明子

令和8年度 調布市立第二小学校



学校経営方針

(令和8年4月1日)

調布市立第二小学校

校長 関村 明子

I 基本理念

< 3つの 大切、3つの笑顔 >

自分を大切に
する子ども

目指す学校像

「子どもたち、地域・保護者、教職員の笑顔あふれる学校」

みんなを大切に
する子ども

地域を大切に
する子ども

自分を大切に

…子どもの笑顔

〈授業力の向上を目指して〉

- ・年間に一人1回、模範授業の参観
- ・相互授業参観
- ・OJTの活性化

〈特色ある教育活動〉

- ・本物との出会い…体験的活動の重視

・二小の生活ルールの徹底

・事故、怪我の未然防止

・きめ細やかな安全指導

- 1 自分のよさ・魅力 …子どものよさや魅力を見つけ、引き出す
- 2 確かな学力 …一人一人が学びを実感できる授業実践
ICTの活用・教科担任制
二小スタンダードの徹底
- 3 健康と安心・安全 …体力の向上・安全な教育環境
- 4 自己有用感 …特別活動の充実

- ・天然芝の校庭を活かした教育活動 (はだし遊び)
- ・マラソン週間、ダブルダッチなど

〈二小スタンダード〉

- ① あいさつで始め、あいさつで終わる
- ② 背筋を伸ばして座る
- ③ 話している人に体を向ける
- ④ 手を挙げて、指名されたら発言する
- ⑤ 授業の片付けをする時、または次の時間までに授業の用意をする

みんなを大切に

…子ども・保護者・地域・教職員の笑顔

- 1 自他尊重、認め合い …人権尊重教育の重視・いじめの防止・生命尊重
- 2 思いやり …特色ある教育活動「たてわり班活動」
- 3 感謝の心 …挨拶の励行、優しい言葉かけ
- 4 多様性の理解

一人一人が人権意識を高める

・ちがいを認め、互いの個性を活かす
・特別支援教育の充実

〈特色ある教育活動〉

・たてわり班活動…異学年交流により、思いやりの心を育んだり、互いのよさを認め合ったりする

地域を大切に

…地域の笑顔

- 1 地域に根差した教育活動 …郷土愛・地域の特色を活かした教育活動
- 2 家庭や地域との連携

・まちたんけん、農家見学、自然学習、施設見学、食育、出前授業、キャリア教育など

・学校運営協議会、PTA、二小地区ネットワーク、地域学校協働本部、健全育成、学校開放など…年1回程度、地域行事への参加

地域に貢献できる人材を育てる

Team 二小

【保護者】

【学校】

【地域】

◎「Team 二小」～ 学校・地域・保護者が手を取り合い、ともに教育活動を進めていく。

Ⅱ 教育目標(目指す児童像)

本校は、児童一人一人を大切にしたい学校づくりを通して、豊かな情操と人権意識を培い、幅広い知識と教養を身に付けるとともに健やかな身体を養う児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

< かがやけ 二小の子 >

- 1 **か**んがえる子 (自ら学びに向かう子ども)
- 2 **が**んばる子 (自己肯定感をもち、ねばり強く取り組む子ども)
- ③ **やさ**しい子 (多様な価値観を認め合える子ども)
- 4 **けん**こうな子 (自ら健康な生活を送ることのできる子ども)

〔③は、本年度の重点目標〕

<基本指導事項(教育活動に臨むときに、まず基盤として全教職員で取り組むこと)>

○ 気持ちのよい挨拶と対話

(笑顔の第一歩は挨拶から!)

(良好な人間関係の構築)

○ 目と耳と心で話を聞く

(人権尊重教育の重視)

(主体的、対話的で深い学び)

○ 時間を守る

(授業の充実)

(二小スタンダード)

Ⅲ 学校の教育目標を達成するための基本方針

(令和8年度 第二小学校教育課程より抜粋)

基本方針の柱として「3つの笑顔(子どもたち、地域・保護者、教職員)のあふれる学校」「3つの大切(自分、みんな、地域)の推進」を位置付け、全教育活動を通じて、「自分のよさや自己有用感、確かな学力の向上」と、「他者を思いやり、生命を尊重する心の醸成」を目指すとともに、「地域を愛し、地域を大切に、地域の中で成長する」ことを通じて、自他が協働しながら豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の担い手となる子どもを育成する。

ア 「かんがえる子(自ら学びに向かう子ども)」を育成するために

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、基礎的・基本的な知識・技能や情報活用能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成する。
- ② 知識及び技能の習得とこれらを活用した課題解決に必要な思考力・判断力・表現力、興味・関心に応じて自ら学習を調整しながら学びに向かう力を育成する。
- ③ 個に応じた指導の充実を図るとともに、多様な考えや価値観を認め合いながら、主体的・探究的・協働的に学ぶ児童を育成する。
- ④ 体験的な学習や地域人材及び地域教材の活用の充実を図り、教科等横断的な視点に立ったカリキュラム・マネジメントの取組を全教育活動で推進する。

イ 「がんばる子(自己肯定感をもち、ねばり強く取り組む子ども)」を育成するために

- ① 自他のよさや可能性に気付き、互いに認め合う児童を育成するために、自己肯定感を高めたり、他者理解を深めたりすることに視点を当てた教育活動の充実を図る。
- ② 「二小スタンダード」等に基づき全教職員が同じ視点で学習規律・生活規律のある指導にあたることで、児童にとって学校が安全で安心な居場所となるようにする。
- ③ 児童一人一人の教育的ニーズに応えるため、家庭と連携し、個別的教育支援計画及び個別指導計画を十分に活用しながら、児童のもつよさや可能性を伸ばしていく。
- ④ 教職員と校内通級教室との情報共有を行い、校内委員会を中心として特別支援教室専門員、スクールカウンセラー、スクールサポーター、スクールソーシャルワーカー、エデュケーションアシスタントを活用し組織的に取り組む活動を充実させる。また、必要に応じて関係諸機関と連携を図る。

ウ 「やさしい子(多様な価値観を認め合える子ども)」を育成するために

- ① 異学年交流を通して、多様な個性を認め合い、寛容に関わる気持ちや思いやりの心の育成を図る。
- ② 自他の「よさ」や互いの違いを認め、自他共に大切にする児童の育成を図る人権教育を推進する。
- ③ 体験活動や地域人材や地域教材の活用を推進し、本物との出会いや体験活動、多様な価値観に触れることを通じて、生きた知識や豊かな情操を育む。
- ④ 児童、教師、保護者、地域が一体となったいじめや体罰を許さない学校風土を醸成する。

エ 「けんこうな子(自ら健康な生活を送ることのできる子ども)」を育成するために

- ① 芝生の校庭や体力テストの結果を活用し、体育・保健の授業改善を図るとともに、日常の体育的活動や遊びの充実を進め、心身ともに健康な子どもを育成する。
- ② アスリートやスポーツ指導者等を招聘したり、体力向上に向けた取組を推進したりすることで、スポーツ志向や自己の体力や健康への関心を高め、より健康的な生活を送るための実践的態度を育てる。
- ③ 食に関する学習指導や保健指導を通して、食に関する教育と健康教育を充実させる。

オ 学校の教育目標達成に向けたその他の事項

- ① 安全・安心な学校づくり
 - ・教職員の安全への意識・行動を高め、怪我や事故のない安心した教育環境を構築する。
 - ・食物アレルギー対応を含め、組織的・計画的に安全教育を行い、安全安心な学校づくりを進める。
 - ・地域と連携した防災・安全教育の実施を通して、自分で身を守り行動する力を高める。
- ② 地域と協働した学校づくり
 - ・学校運営協議会や二小地区ネットワークを中心に、地域と学校が一体となって地域人材や地域教材を生かした教育活動・体験活動を推進し、地域を大切に、地域への愛着を深める子を育てる。
 - ・保護者・児童対象の「学校教育生活アンケート」の結果及び学校運営協議会による意見交換や評価を積極的に取り入れ、教育活動の改善を図っていく。
 - ・教職員が一人一人の児童と向き合い、深い児童理解に基づく丁寧で粘り強い児童への指導と保護者対応の取組を組織的に進め、児童・保護者・地域からの信頼を継続する。

【 特色ある教育活動 】

- ・異学年交流「縦割り班活動」を年間を通して行う。
- ・校庭全面芝生という利点を生かして、1か月に渡る「校庭はだし遊び」や「縦割り班遊び」等の特別活動や体育科の学習における本校ならではの教育活動をさらに推進していく。
- ・「本物との出会い」として、地域教材等を生かし、地域の社会基盤に触れる活動を通して地域を愛し、大切にする心身の育成や生きた知識の習得を図る。
- ・専科を含め「学年・教科担任制」を取り入れ、教員の授業力の向上や、学校職員全体(会計年度任用職員を含む)で児童を見守り育成する体制の充実を図る。
- ・一人1台モバイル端末を活用し、自ら問いをもち、学び方を選択しながら問題解決に向けて探究的・協働的に学ぶ児童の育成を目指す。